

新たな地域コミュニティ支援事業に係る区長評価について

評価項目			取組内容	区長評価
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組	I	地域課題への取組	・ コロナ禍による各種地域活動の中止・規模縮小や高齢化による地域活動の担い手の減少が深刻化している状況で、区内の大学や専門学校、高校等と連携し、学生ボランティアとして担い手の確保につなげた。 ・ パソコンに不慣れな会計担当者や事業担当者に対し、地域に訪問し使用方法をレクチャーする等、円滑な会計処理や事業実施に向けた支援に取り組んだ。	B
	II	つながりの拡充	より多くの住民が地域行事に参加し、地域と住民とのつながりの創出をめざし、事業カレンダーの広報やSNSの活用支援に取り組んだ。また、夏祭りでのキャッシュレス決済の導入等、先進的な取り組みへの支援を行った。	A
	III	組織運営	補助金要綱の改正による会計処理の変更について、各地域に個別に訪問し会計説明会を実施するとともに、事業計画の変更等に伴う予算額の更生等についても、地域実情を把握しながら適切な支援に取り組んだ。	B

総合	地域活動協議会の組織運営や適切な会計処理における基本的な支援の他、アフターコロナにおける地域活動の再開に向け、地域毎の課題に応じた支援に取り組んだ結果、安定継続的な活動につながっている。	B
備考 (特記事項)		

【区長評価】

S:各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A:各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B:各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C:各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。